

平成 30 年度 4 回 にいがた交通戦略推進会議 質疑概要一覧

<基本計画（案）及び実施計画（案）について>

発言骨子	要旨	回答
水素タクシーの導入支援	○実施計画における次世代自動車の導入支援について、水素タクシー導入支援の視点も盛り込んでいただきたい。	○盛り込む方向で検討する。
交通手段間の役割分担	○鉄道、路線バスだけでは縦方向の移動に対応しきれない現状があるため、交通手段間の役割分担を図り、面的に対応すべきである。	○取り組みの方向性②及び⑩において、交通手段間の役割分担を図ることとしており、デマンド交通も含めて検討を進めていく。
ノンステップバスの導入	○実施計画における、ノンステップバスの導入について、「誰もが快適に利用できる」と記載があるにも関わらず、区バスだけの取り組みのような表現であるので、路線バスを含めて検討いただきたい。	○運行事業者として取り組む方針なのであれば、実施目標も含めて、路線バスも含めた表現となるように対応させていただく。
進捗管理	○年度ごとに、成果指標と合わせて個別施策についても進捗状況をチェックできるようフォローアップをお願いしたい。また、その旨を計画に記載すべきである。	○ご指摘のとおり、記載させていただく。
重点的に取り組む施策	○重点的に取り組む施策の選定根拠を問う。	○現行の戦略プランにおける重点プログラム（施策）を踏襲していることに加え、多言語化サイトの整備促進など、新たな施策を追加している。
交通関連ビッグデータの活用	○実施計画における、交通関連ビッグデータの活用について、交通系 IC カードについては JR の協力がないと進まないと考える。	○協議を重ねながら、ご協力いただけるなかで検討を進めていく。

<地域公共交通網形成計画（案）について>

発言骨子	要旨	回答
<p>成果指標 2</p>	<p>○インバウンドの増加を見越して目標年次を早めたのだと思うが、全国相互利用 IC カード利用者数の指標で、インバウンドの増加を捉えられるのか。現状、インバウンドの方が、IC カードを利用して市内を移動しているのか実態を教えてほしい。</p>	<p>○IC カードの支払内訳など、すべてを把握できていないため、今後の進捗管理のなかで、検討を進めていきたい。</p> <p>○インバウンドの観点として、本市は、来訪者に対して、IC カード普及のレベルまでは到達していないのが現状である。</p> <p>○海外からの個人来訪者にとって、公共交通を利用することは、使うことへの関心はあるが、難しいのが実情。については空港到着ロビーに IC カードの販売機を設置することや、航空会社と連携し機内で新潟到着時には公共交通利用の PR をしてもらうなどの取り組みが必要である。</p>